

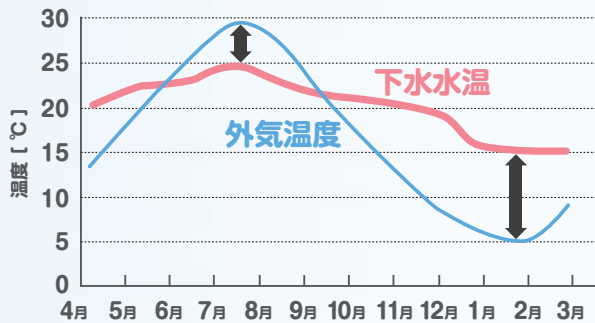
下水道革新的技術実証事業(B-DASHプロジェクト)

Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project

管路内設置型熱回収技術を用いた 下水熱利用に関する実証事業

下水熱利用のメリット

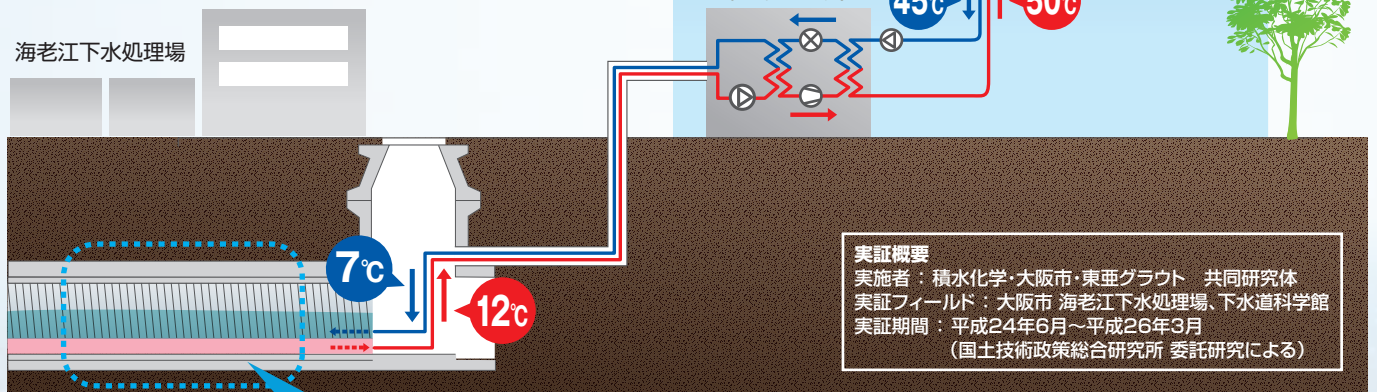
■平均温度の比較例



- ・熱需要の多い都市部に多く存在する熱源
- ・外気に比べ温度変動幅が小さい安定した熱源
- ・下水熱を熱源に活用することで、外気を利用するよりも、高い効率でヒートポンプの運転が可能
(冬期暖房、給湯、融雪および夏期冷房に利用可能)

実証施設のシステム構成(暖房時)

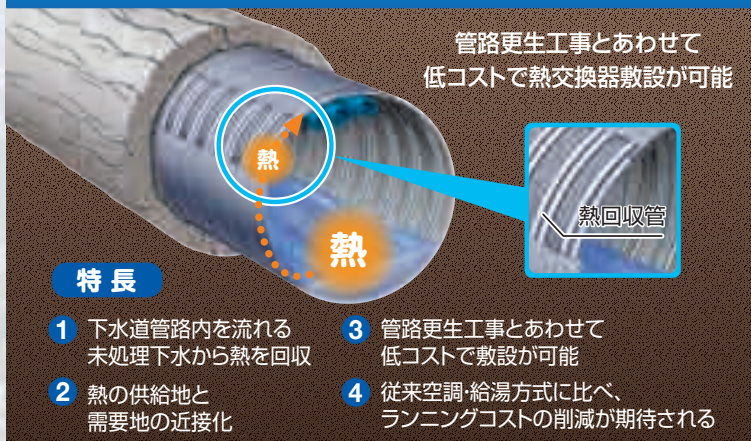
※温度は例



実証概要
 実施者：積水化学・大阪市・東亜グラウト 共同研究体
 実証フィールド：大阪市 海老江下水処理場、下水道科学館
 実証期間：平成24年6月～平成26年3月
 (国土技術政策総合研究所 委託研究による)

管路内設置型熱回収技術

管路更生工事とあわせて
低コストで熱交換器敷設が可能



特長

- 1 下水道管路内を流れる未処理下水から熱を回収
- 2 熱の供給地と需要地の近接化
- 3 管路更生工事とあわせて低コストで敷設が可能
- 4 従来空調・給湯方式に比べ、ランニングコストの削減が期待される

今後の展開 [導入エリア拡大]

